

燦たり
四中
学校たより

みかまあう

12月8日

11月8日(金)

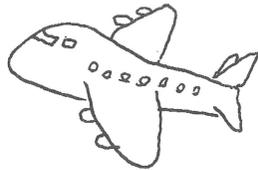


自分の将来、て....?

想像してみましよう!

先週、3年生は共通テストをうけました。これは、進路決定をする上で、自分の力を知り、進学する高校を決定する決め手となる大事なテストでした。1年生でもあと2年、2年生にはあと1年しかありません。そこで進学先が決まってくるのでは？これを機に、自分の将来(進学先)について考えてみましょう。入試の合格判定のしくみについては、担任の先生から聞いてください。今回は自分の将来のことをしっかりと考えてもらいたいと思います。ただ、私もそうでしたが、中学生のうちには、きりと**将来の夢を決めている人は少ない**と思います。しかも、中学生ともなると保護者の方とそんなことをゆくりと話す機会も少ないと思うので、この通信を話のネタにして、**将来のことを話す機会**をつくらせてください。とくに保護者の方の体験談や、子どもの将来について考えていることを伝えることは、子どもたちにとって、とてもためになるので、ぜひ話をさせてください。例として私のエピソードの一部を紹介しますね。

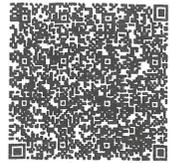
荒牧少年は、小学生のころ**パイロット**を夢見ていました。ホント、ただのあこがれ程度で、中学になっても、どうしたらパイロットになれるのかすら知りませんでした。今みたいに進路学習なんてものはありませんでしたし、インターネットや進路に関する本すらなかったため、自分の知識の範囲内でしか、進路を考えられませんでした。その狭い知識の中にあたのが、自宅近くにある**自衛隊**でした。➔



友だちのお父さんに、自衛隊の人が多く、『**航空自衛隊**に入れば、パイロットになれるじゃん』と安易に考え、少年自衛隊(当時の名称)を進学先に考えました。ところが！大きな問題が...。その頃、受験資格というものがあり、身長150cm以上とあっていました。当時の荒牧少年は、中3で**身長147cm**しかなかったため、なんと受験すらできませんでした。そこでもうひとつの夢であった『**電気機械の仕事**』を選ぶため、工業系の進学先を考えました。しかし、中3の夏休み、お盆で祖父の家に戻ったとき、電気工事をしているおじさんに相談したら、『**本当に夢はそれ一本にしほれと、とかい？他にもやりたいと思っていること(パイロット)があるのなら、普通高校に行き、3年間考えて、それでも電気関係はしたかなら、そこから工業系の道に進むとよか3？**』と言われ、普通高校に行くことに決めました。

その後、高校に進学しても、第1の希望はパイロットだったんですが、高2の時に視力が落ち始めたため、パイロットの夢はと断念してしまいました。そのため、工業系の道へ進むことを考えるようになったんですが.....なんと今の私の仕事は学校の先生です。なぜ？と思われるでしょうが、そこからの話はさらに長く、紙面に入りきれないので省略させていただきます。とにかく私みたいに変わりながら夢や進路を決めていく人は9割だと思います。それではいいと思います。**自分の得た経験**で変わり、そのつと**修正しながら大人になっていく**のです。夢がある人は大いに結構！その夢に向かって進んでほしいです。また、まだ決まてない人は、周りの人の意見やアドバイスを聞きながら見つけていってください。とにかく大事なことは、**将来のことを考えること**なんです！

これを機に、**子どもの想いをしっかりと聞いてあげて**ください！また、子どもがわからない場合は、**保護者の想いを伝えてあげて**ください。それを受けて子どもが何かを感じると思っています。よろしくお願いします。(くれぐれもおしつけはしないでください。CMを参考に、子どもの本当の想いを聞いてあげてください。↑ Youtubeです。)



5分くらいの短めし
会社の
イベント
動画です。

返信
ありがとう
ご返信。
賛否、13135まで意見
いたしてください。

